

◆ [評価勘定科目の設定] について

(画面例はすべて「PCA 社会福祉法人会計シリーズ バージョンDX」を使用しています。)

減価償却仕訳を間接法で入力している場合に限り、[評価勘定科目の設定] をしていただくことで、「決算書」－ [貸借対照表] を出力する際に [条件指示] の [評価勘定の出力方法 (貸借対照表)] で「科目ごと」(直接法) や「評価勘定を控除して出力」(間接法) を選択することで表示を切り替えることができます。

また、「決算書」－ [財産目録] の [取得価格] [減価償却累計額] [貸借対照表価額] を期首残高や仕訳から自動集計することができます。

※ [評価勘定科目の設定] を変更する場合は必ず「ファイル」－「データ領域のバックアップ」を実行してください。

【設定方法】

「前準備」－「科目の登録」－「科目関連情報の一括登録」の [評価勘定科目設定] タブを開き、固定資産の種類ごとに [減価償却累計額] の補助科目を用意しておき、補助科目ごとに固定資産科目を [控除対象科目] に設定を行います

